

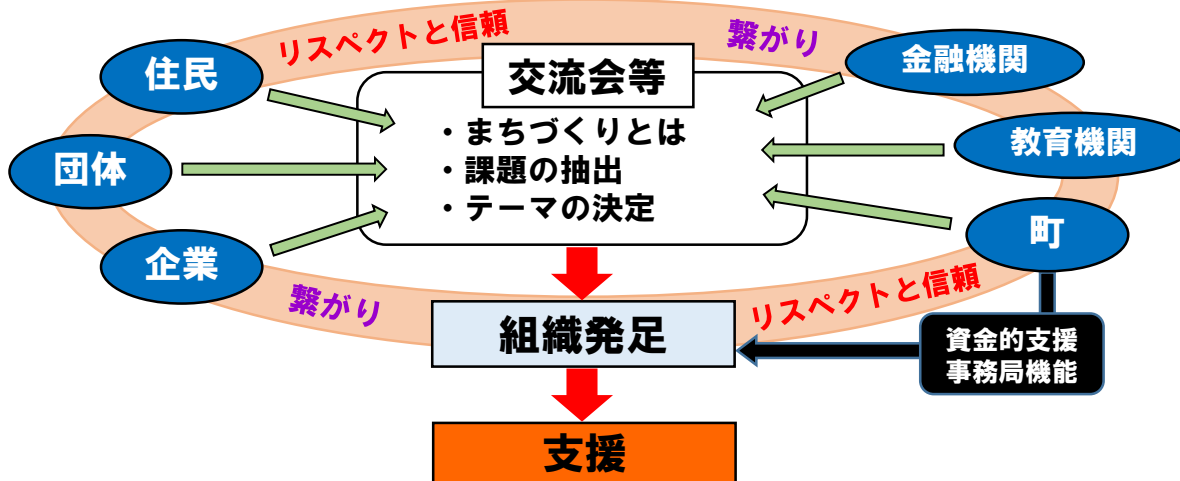
中間支援組織について

○ 軽井沢22世紀風土フォーラムの成果と課題

軽井沢22世紀風土フォーラムでは、シンポジウムの開催、未来宣言、セミナーの開催、芸術祭の開催等住民主体のまちづくりを体現してきた。しかし、住民に委ねすぎた面もあり、町としても能動的に活動することができなかったことから、今後は更に住民との協働によるまちづくりを推進し、自由度の高い活動ができるよう、軽井沢22世紀風土フォーラムに代わる新たな組織を創っていききたい。

⇒どのような組織にするべきか、まちづくりとは何か等、立ち上げの段階から住民と共に考えたうえで、新たな組織を創っていききたい。

- ・交流会、ワークショップ、意見交換会を開催。軽井沢の課題や軽井沢におけるまちづくりについて考える。また、そういった場を設けることで、既にまちづくり活動をしている方同士の顔合わせの場になり、活動の幅が広がっていく。
- ・交流会等を経て、まちづくりのテーマや組織の創り方等を決定
- ・決定したテーマを基に組織を発足



- ・約一年で土台を形成
- ・メンバーは固定ではなく、実情に応じて増やすことも
- ・組織発足後、運営方針等を検討

○ 期待される効果

- ・住民との協働によるまちづくり
- ・協働社会の実現
- ・軽井沢愛を育み、軽井沢力を磨く
- ・軽井沢の魅力である「多様性」が高まる
- ・誰もが住みやすく定着するまちへ
- ・誰ひとり取り残さないまち
- ・「ワクワク」して人が集まり、「新しい価値」を生み出す
- ・持続可能で魅力的なまち「かるいざわ」

「ワクワク軽井沢」の具現化へ！

○ スケジュール（案）

項目	スケジュール
交流会等の開催	令和6年4月～10月
組織発足	令和6年11月～12月
活動開始	令和7年1月